

第42回 宮城県中学校新人バスケットボール選抜大会 実施要項

- 1 主 催 (一社)宮城県バスケットボール協会
- 2 共 催 宮城県中学校体育連盟
- 3 主 管 宮城県中学校体育連盟バスケットボール専門部
- 4 会 期 令和2年12月5日(土)～12月6日(日)
- 5 会 場 宮城県総合運動公園体育館 セキスイハイムスーパーアリーナ
- 6 参 加 資 格 (1) 学校単一チームであること。
ただし、宮城県中学校体育連盟複数校合同チーム参加規定に該当するチームは、特例として複数合同チームでの参加を認める。
(2) 各地区新人大会、またはそれに代わるものを参考にするなど、地区割りにしたがって選抜されたチームであること。
(3) エントリーは23名以内とする。
(監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手20名)
(4) 監督は当該校の教員(校長含む)で、男女別に置くことを原則とする。また、コーチ、マネージャーのいずれか1名は当該校の教員以外の外部コーチでも良いが校長が承認した者とする。部活動指導員の登録については県中体連事務局に認められた者でなければならない。(チームとして教員が帯同しない参加は認めない。)参加申し込み書への校長の押印をもって、承認したものとする。ただし、中学校教員・校長、または、行政に勤務している教員が他校の外部コーチとしてベンチに入ることは認めない。コーチは継続的に指導しているという観点から、郡市予選で他チームに登録した外部コーチや部活動指導員の移籍登録は認めない。
(5) 令和2年度日本バスケットボール協会への登録チーム・個人。未登録選手、チームの出場は認めない。また、指導者はコーチライセンスを取得していることが望ましい。
(6) クラブ登録の選手であっても、当該校での活動実績があり(部員として活動していること)校長が認める者については、所属校の選手としての参加を認める。
- 7 参 加 数 各地区で選ばれた男女16チーム、合計32チームとする。
- 8 競 技 規 則 (1) 現行の(公財)日本バスケットボール協会競技規則による。
(2) 本大会は「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則って運営し、試合におけるマンツーマンディフェンス/ゾーンディフェンスの判定は、大会主催者が任命したマンツーマンコミッショナーが行うこととする。
- 9 競 技 方 法 トーナメント方式(シード決定戦あり)
- 10 表 彰 (1) 優勝チームには、優勝旗、団体賞状、カップを授与する。
(2) 2, 3位チームには団体賞状を授与する。
- 11 参 加 申 込 (1) 申し込み方法
参加申込書に必要事項を記入捺印し、令和2年11月9日(月)までに、大会事務局に提出する。
(2) 申込先
- | |
|--|
| 〒983-0013 仙台市宮城野区中野高橋前65 仙台市立中野中学校
宮城県中体連バスケットボール専門部 委員長 今野 雄介 宛
TEL022(259)2020 FAX022(259)2593 |
|--|
- (3) 参加料は、参加チーム1チームにつき6,000円とする。(12月5日に大会本部に納入)
(4) その他
プログラム作成の都合上、各地区大会終了後直ちに必要事項を記入し、Excelファイルで下記当てまでメールにて申し込むこと。(宮城県中体連ホームページからダウンロード)※仙台市のチームはC4thでの送信可
- | |
|---|
| 宮城県中体連バスケットボール専門部総務部長
仙台市立岩切中学校 赤井 衛 宛 E-mail mmraki1981@yahoo.co.jp |
|---|
- 12 組 合 わ せ 令和2年11月11日(水)午後2時から部会長校(西山中)で行う。抽選は宮城県中体連バスケットボール専門部の責任抽選とする。

13 大会内規

- (1) 本大会上位4校に入った該当の郡市(区)は、来年度の宮城県中総体でシードされる。その際のシード位置は〔1-4〕〔3-2〕となり、棄権は認めない。また、優勝したチームが属する郡市(区)からは、来年度の県中総体に1チームプラスして出場できる。
- (2) ベンチは、組み合わせ番号の小さい方がオフィシャルに向かって右側、ユニフォームは白色を着用。
- (3) 各チームは濃淡(白)のユニフォームを用意し、同一チームは同じものを着用する。
- (4) メンバー表は前試合のハーフタイムまでにメンバー表提出場所に出すこと。試合毎、補欠選手の登録メンバーへの変更があってもかまわない。メンバー表は所定様式のもの(参加申込書のファイル内にある「TO提出用紙」)でA5版のものを使用すること。
- (5) メンバー表のメンバー以外はベンチに入らない。
- (6) 前試合が遅れた場合は、試合終了10分後に開始する。
- (7) 飲料水の補給については、スクイズボトルを使用するなどフローアを汚さない措置をこうじ、各チームで責任を持つこと。
- (8) オフィシャルは、負けオフィシャルを原則とする。試合終了後直ちに当該コートのTOとモップを準備すること。一日目の第1試合については、第3試合の組み合わせ番号の小さい学校が担当する。二日目は、協力校で行う。
- (9) 鳴り物を用いての応援は認めない。
- (10) 中学生らしくない髪型(パーマ・染色等)や格好(ピアス等)の選手のベンチ入りは認めない。
- (11) 登録された監督・コーチの服装については、上は襟付き、下は長ズボン(スラックス、チノパン等)とし、Tシャツ、ハーフパンツ、サンダルばき等は不可とする。
- (12) 登録された監督・コーチ以外のベンチサイド・観客席での選手への指示は認めない。万が一このような行為があった場合は、該当チームの監督が、止めるよう指示しなければならない。それでも従わない場合は体育館からの退場を求めることとする。また、大会委員や競技役員、選手、補助員以外のフロアへの立ち入りを認めない。
- (13) 申し込み書に記載する、選手氏名、学校名、学年等の情報は本大会プログラムに掲載し広く公表する。記載・掲載に関して各学校で同意を確認し、同意が得られない等、事情がある場合は抽選会までに県バスケットボール専門部事務局(022-259-2020:中野中 今野)へ連絡を入れること。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。
- (14) 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。
- (15) 会場準備は当日の朝、競技役員、協力チームで行う。
- (16) コーチライセンスを取得しているベンチスタッフは、必ずコーチ証を首からぶら下げてベンチに入るようにすること。

14 感染対策

参加校の顧問は大会初日に参加者(学校同行者)全員の「健康チェックシート(様式1-1)」「学校同行者一覧表(様式1-2)」を取りまとめ、受付に必ず提出すること。また「参加同意書(様式2)」については各学校で事前に集め保管すること。なお、各学校において以下の内容を関係者(生徒・保護者等)に周知すること。

- (1) 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせるものとする。(当日も健康チェックシート手で確認する。)
 - ①体調が良くない場合(発熱・咳・咽頭痛など)
 - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (2) 原則として無観客での開催となるが、各チームの選手管理や運営補助として保護者は別に定める規定に従った人数まで帯同できるものとする。
- (3) 競技中の選手以外は役員・保護者も必ずマスクを着用すること。
- (4) こまめな手洗い、アルコール消毒による手指消毒を各チームごとに実施すること。
- (5) 水分補給用のボトルおよびタオル等は個人ごとに用意すること。
- (6) 待機場所や観客席は指定された場所を利用し、人との距離を十分に保つこと。
- (7) 競技中はプレーに必要な声以外の大きな声での会話や応援はなるべくしないこと。
- (8) 大会中に発熱等、体調の悪い生徒等が出た場合は必ず本部に連絡すること。
- (9) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (10) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守や指示に従うこと。

15 開・閉会式

準備の都合上、開会式は行わない。閉会式は全試合終了後直ちに行う。

16 その他

各チームは12月5日(土)朝9:00までに受付を済ませること。また、大会本部(1F視聴覚室)で行われる9:00からの監督会議に代表者1名(当該校の教員であることが条件)必ず出席すること。